

放課後児童健全育成事業版第三者評価調査報告書

【共通評価基準】

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念、基本方針が放課後児童クラブ内の文書や広報媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 理念は、放課後児童クラブが実施する福祉サービスの内容や特性を踏まえた放課後児童クラブの使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。
	4月職員会議では施設長は理念の解説と考え方を述べ全職員との共有を図っている。2022年度入所のしおりでは、保育理念、教育の方針を明記し、事業内容では年間計画や避難訓練を、安全と健康では、特別警報発令時の対応・児童の健康状態・感染症対応につき保護者との情報共有を目指し、さらに保護者に4ページの重要事項説明書を配布し説明している。ホームページでも教室の全景、開所時間、教育課程・カリキュラム、特別延長教育(18:00~19:00)について広報している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 基本方針は、放課後児童クラブの理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、子どもや保護者等への周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。
	伝統となっている全国の園長会議で現状認識を共有しつつ、社会福祉協議会や関係のある近隣の4小学校とも連携して状況把握に努めている。少子高齢化については、個々の施設では如何ともし難く、まず保育サービスを提供する職員サイドの質向上をさらに高めて保護者側の理解に触れる努力に傾注している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 利用者数・利用者像等、放課後児童クラブのニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、放課後児童クラブが位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に放課後児童クラブのコスト分析や放課後児童クラブ利用者の推移、利用率等の分析を行っている。
3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 経営環境や実施する福祉サービスの内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。
	目標カードによる全支援員との年2回の個別面談を中心に、職員会議での説明や確認を行っている。保育人材育成を中心課題として目標達成に向け、努力している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	c	<input type="checkbox"/>	ア 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。
	中長期計画については、全国的に展開している各施設の状況を本部で統括し、各施設へは指導支援を行っている。各施設では少しでも現場活動の時間を増やすよう、多様性に少しでも対応を密にしようと努力すべく、中長期計画は作っていない。		<input type="checkbox"/>	ウ 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
			<input type="checkbox"/>	エ 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。
5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	c	<input type="checkbox"/>	ア 単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。
	4番と同じである。ただし本部のアドバイスを活かして単年度計画は作成している。		<input type="checkbox"/>	ウ 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。
			<input type="checkbox"/>	エ 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。

放課後児童健全育成事業版第三者評価調査報告書

【共通評価基準】

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。
	単年度事業計画は、職員参画の下きめ細かく作成している。みらい園の職員会議には常に参加し、適宜その経過を報告している。年2回の目標カード提出時に自己評価をし、計画の見直しもを行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)がされており、理解を促すための取組を行っている。
7	② 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 事業計画の主な内容が、子どもや保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。
	レイモンド全体で保護者会方式を取っておらず、毎月発行する「おたより」には、事業計画に基づき実施した個別の育成内容について、文章だけでなくそれ以上のスペースを使って何枚もの写真で良く解っていただく様、工夫し周知に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 事業計画の主な内容を分かり易く説明した資料を作成するなどの方式によって、子どもや保護者等がより理解しやすい工夫をおこなっている
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 事業計画については、子どもや保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
8	① 放課後児童クラブの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織的にPDCAサイクルにもとづく放課後児童クラブの質の向上に関する取組を実施している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 放課後児童クラブの内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。
	職員会議での施設長発言は、保育・育成活動の質向上に向けていろいろな視点から発言され、児童クラブ支援員も参加して全員で周知徹底を図っている。第三者評価調査受審についても素早く決断実行している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ □評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。
9	② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員間で課題の共有化が図られている。
	児童クラブとして今年度活動では、一人ひとりの良さを磨き自己肯定感を積み立てると共に、異年齢のグループとしてまとまって発表する話し合いもできる事に自信を付けた年であった。更に新年度に向けて、磨き上げていってほしい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 運営主体の責任が明確にされている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
10	① 運営主体は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 運営主体は、自らの放課後児童クラブの経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 運営主体は、自らの役割と責任について、組織内の広報誌等に掲載し表明している。
	施設長は4月の職員会議で本年目標を「魅力のある人、魅力のある園作りNo.1」全員笑顔を絶やさず、子ども達との関係性を深め観察力を磨き、保育の真髄に達することと決定した。有事の際の責任者不在の場合でも権限委任を明確に文章化している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 運営主体は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 平常時のみならず、有事(災害、事故等)における運営主体の役割と責任について、責任者不在時の権限委任等を含め明確化されている。
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 運営主体は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 運営主体は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。
	園長会議、地域の責任者会議や行政との面談等で得られた情報は職員会議で職員に周知している。SDG'sについても、地域貢献として活発に活動しようと申し合わせを行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 運営主体は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 運営主体は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。

放課後児童健全育成事業版第三者評価調査報告書

【共通評価基準】

II-1-(2) 運営主体のリーダーシップが発揮されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
12	① 放課後児童クラブの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 運営主体は、実施する放課後児童クラブの質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 運営主体は、放課後児童クラブの質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。
	施設長は、職員会議に児童クラブ支援員も参加させ、本年度目標も理解している。児童クラブからの報告や要望も受け取り、各種イベントでは可能な限り参加し、質の向上に向けて児童クラブ支援員の教育・研修の充実に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 運営主体は、放課後児童クラブの質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 運営主体は、放課後児童クラブの質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 運営主体は、放課後児童クラブの質の向上について、職員の教育・研修の充実に努めている。
13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 運営主体は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 運営主体は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。
	少子高齢化の波には抗し切れないが、子ども達・保護者との信頼関係確立に向けて、日々の育成活動レベルアップに目標設定し努力している。シーズン毎の児童数確保や長期休暇教室の募集活動にも配慮している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 運営主体は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 運営主体は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 放課後児童支援員の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。
	ホームページには詳細な求人情報を掲載し、施設の職員会議でも施設長から明確な指示が出ている。児童クラブだけの職務担当者としての確保という意味合いではないが、保育園との人事交流も含め幅広い担務の人材確保をしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 放課後児童クラブとして、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
15		② 総合的な人事管理が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。
	年2回の目標カードに基づく面談は、期中のフィードバックなども含め実施している。このカードには明確な目標設定・達成度の確認をする箇所があり、職員の昇給・昇格などへの意欲を上げる考課資料として利用している。これに基づいたキャリアアップ処遇改善も書面に明確化し職員の職務意欲改善に生かしている。職員会議で児童クラブ職員の求人を出す旨報告し実施している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 職員の就業状況や意向の把握等にもとづき労務管理に関する責任体制を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。
	支援員の就業状況は、シフト表に月別に区分して記録している。また、支援員の活動内容については日・月別に保育日誌・出席簿日誌でまとめている。そして指導員が担当者ごとの活動をチェック出来るよう支援員活動日誌も記録してきめ細かい記録集積のあとがみられる。また支援員個々人とのエンゲージメントサービス取り決めなどの確認はSmartHRを利用することで明確に示している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)に配慮した取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。

放課後児童健全育成事業版第三者評価調査報告書
【共通評価基準】

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が 確立されている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 個別面接を行う等組織の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。
総合的な人事管理の中で触れたように、檸檬会の統一した人事規約が個々の職員に浸透している。特に半年に1回実施する目標カードには檸檬会の統一した目標項目の認識を徹底する欄と、個人役割目標・自己啓発目標それぞれ具体的に網羅することで職員の支援活動の意識向上に役立っている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。
		18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 現在実施している放課後児童クラブの内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、組織が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。
今年度の実績として園内研修を2回、外部研修を2回受審している。このほか職員それぞれの職務向上を目指した人事管理の一環としては、目標カードによる面談・キャリアアップ処遇改善事業によるキャリアステージの辞令発令も実施している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に計画の評価と見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。
		19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。
職員一人ひとりの職務向上の機会を確保するために外部研修も積極的に受講奨励している。なかでも一般社団法人しが学童保育支援センターが年4回実施している研修会では、就労経験年数によって3コースが設けられているので、外部研修の一つとして活用している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ ささまざまな職員が参加して、事例検討を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を奨励している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の 研修・育成が適切に行われている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
20	① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成に関する基本姿勢を明文化している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 実習生等の福祉サービスの専門職の教育・育成についてのマニュアルが整備されている。
檸檬会では「保育・教育実習受け入れプログラム、実りある実習受け入れをすすめるために」を作成し、実習生受け入れに努めている。児童クラブとしても、現在利用している保護者の口コミや、長期休暇プランのみ利用する保護者への働きかけや口コミ支援の依頼など実習生の確保を目指して欲しい。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。
			<input type="checkbox"/>	エ 指導者に対する研修を実施している。
			<input type="checkbox"/>	オ 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。
		II-3 運営の透明性の確保		
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が 行われている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア ホームページ等の活用により、放課後児童クラブの理念や基本方針、提供する育成支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。
判断した理由・特記事項等			<input type="checkbox"/>	イ 放課後児童クラブにおける地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。
運営主体の檸檬会のホームページでは詳細情報を開示し、児童クラブを管轄する当園の紹介もしている。また日々の児童の出欠や活動はキッズプラスやワークプレスなどのSNSで保護者と職員間での情報開示並びに伝達もスムーズに行っている。第三者評価調査受審は、今回が初めてなので、この結果を活かして前進してほしい。			<input type="checkbox"/>	ウ 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 放課後児童クラブの理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、放課後児童クラブの存在意義や役割を明確にするように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 地域へ向けて、理念や基本方針、児童館で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。
		22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 放課後児童クラブにおける事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。
この分野は園長の管轄分野で、内部外部ともに監査体制のルール及び実施は万全に行っている。外部に対しては、大津市からの事業費の補助金申請時に監査資料の提出をするなど透明性の高い対応に努めている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 放課後児童クラブの事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。

放課後児童健全育成事業版第三者評価調査報告書
【共通評価基準】

II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
23	① 放課後児童クラブと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	様々な社会資源(自治会・町内会や民生委員・児童委員(主任児童委員)等の地域組織、放課後子供教室、児童館等)と連携している。
施設の立地場所の特性から寺院や商店街との交流は従来から行っている。ただコロナ感染の影響で商店街との交流は実施できてないのが実情である。なお、そうした中でも寺院へ出向いてお話を聞くなどの活動は実施できている。			<input type="checkbox"/>	ウ	子どもの個別の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。
			<input type="checkbox"/>	エ	放課後児童クラブへの理解を得るために、地域の人々と放課後児童クラブとの交流の機会を定期的に設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	個々の利用者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。
24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。
判断した理由・特記事項等			<input type="checkbox"/>	イ	地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。
受け入れマニュアルは用意している。今年度は就労支援の一環として2022年12月に1名を受け入れている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
25	① 放課後児童クラブとして必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	当該地域の関係機関・団体について、個々の子どもや保護者等の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。
通所児童の学校4校とは、登所経路や下校時間などの児童個々の毎日の予定を把握するために各学校の担当者とも密に連絡している。また各学校の教頭・担当教師名を把握、さらに不審者情報の情報交換も学校側と危機管理体制の一環として共有している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。
			<input type="checkbox"/>	エ	地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ	家庭での虐待など権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	子どもの発達・生活の連続性を保障するために、情報交換や情報共有、職員同士の交流等により、学校や、保育所、幼稚園等との積極的な連携が図られている。
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
26	① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	放課後児童クラブが実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。
判断した理由・特記事項等					
商店街や地域福祉団体の情報は、把握出来ている様子はある。ただ、コロナ禍という環境下でなかなか具体的な交流の計画を立てることは困難なのが現状である。					
27	② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。
当園では施設内に病児室を設けており、施設利用者以外の地域の児童や子どもが必要な場合にも利用出来るよう対応している。			<input type="checkbox"/>	ウ	多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。
			<input type="checkbox"/>	エ	放課後児童クラブが有する福祉サービスの提供に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。

放課後児童健全育成事業版第三者評価調査報告書
【共通評価基準】

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1-(1) 子どもや保護者等を尊重する姿勢が明示されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
28	① 子どもや保護者等を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念や基本方針に、子どもや保護者等を尊重した福祉サービスの実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもや保護者等を尊重した福祉サービスの提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	入会のしおりに、法人としての理念・基本方針が明示しており、職員は年2回の自己評価表を作成し目標に向かって自己研鑽している。保護者からの電話では、相手の話をきちんと受け止め丁寧な対応をしている。お迎えの保護者とのコミュニケーションを大切に、子どもの情報交換の場としている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもや保護者等を尊重した福祉サービス提供に関する基本姿勢が、個々の福祉サービスの標準的な実施方法等に反映されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもや保護者等の尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子どもや保護者等の尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。
29	② 子どもや保護者等のプライバシー保護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもや保護者等のプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した福祉サービスが実施されている。
	入所時の利用契約書に、プライバシー保護のための秘密保持の項目が明示している。保護者は、写真やビデオ等の掲載には同意書を出している。着替え等も、きちんと配慮している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもや保護者等にプライバシー保護に関する取組を周知している。
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
30	① 利用希望者に対して放課後児童クラブ選択に必要な情報を積極的に提供している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念や基本方針、実施する育成支援の内容や放課後児童クラブの特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 組織を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。
	ホームページを作成し児童クラブの方針や一日のながれ等わかりやすく説明している。見学を希望する人には、希望日等の入力システムを導入し来所し易い様に努めている。最近はSNSも活用してきている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 放課後児童クラブの利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 見学、体験入所、一日利用等の希望に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 利用を希望する子どもや保護者等に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。
31	② 放課後児童クラブの利用開始・変更にあたり子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 放課後児童クラブの利用開始・変更の内容に関する説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 放課後児童クラブの利用開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。
	利用開始・変更時には、保護者の同意を得た上で書面もきちんと整備している。書面には、目的・期間・サービス内容・契約時間等きめ細かな項目があり、保護者にもわかりやすい内容である。各学校とも連絡を取り合い下校時間等を保護者へもわかりやすく表示している。急な変更や連絡等がある場合には、随時保護者へメール配信をしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 放課後児童クラブの利用開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 特に配慮が必要な子どもとその保護者等への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 特に新1年生の環境変化に配慮して、利用の開始の前に、子どもや家庭の状況、保護者等のニーズ等について、把握確認し、放課後児童クラブでの過ごし方について十分に保護者等に分かりやすく説明し、情報交換をしている。
32	③ 評価外			
Ⅲ-1-(3) 子どもや保護者等の満足度の向上に努めている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
33	① 子どもや保護者等の満足度の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもや保護者等の満足度に関する調査が定期的に行われている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもや保護者等への個別の相談面接や聴取、懇談会が、子どもや保護者等の満足度を把握する目的で定期的に行われている。
	春・秋にアンケートを実施し、保護者からの要望等をきちんと把握できている。児童にはイベントごとに企画運営から参画してもらい成果を上げており、アンケート結果でも児童や保護者の満足度がうかがえる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもや保護者等の満足度に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、子どもや保護者自身の参画のもとで検討会議の設置等行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。

放課後児童健全育成事業版第三者評価調査報告書
【共通評価基準】

Ⅲ-1-(4) 子どもや保護者等が意見等を述べやすい体制が確保されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を子どもや保護者等に配布し説明している。
	日々の送迎時を利用し情報交換の場とし保護者からの声をしっかり聞いている。調査のためのアンケート調査でも、子ども・保護者ともに職員への信頼関係がしっかりできていることが伺える。子どもたちは、玄関に入るなり、職員が『おかえり』と迎え入れ早速学校での出来事や嬉しいことを次々と報告している様子から早暖かな雰囲気伝わってくる。できる限り、子ども達と向き合える時間確保に努めている。運営に関する苦情等があった場合には、施設長が直接保護者と対応する体制が整っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、子どもや保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 苦情内容については、受付と解決を図った記録が適切に保管されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 苦情内容に関する検討内容や対応策については、子どもや保護者等に必ずフィードバックしている。
			<input type="checkbox"/>	カ 苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た子どもや保護者等に配慮したうえで、公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 苦情相談内容にもとづき、放課後児童クラブの質の向上に関わる取組が行われている。
35	② 子どもや保護者等が相談や意見を述べやすい環境を整備し、子どもや保護者等に周知している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもや保護者等が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもや保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。
	重要事項説明書の最終15に保育内容に関する相談・苦情について明記し、個室も用意して相談しやすい環境を整えている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。
36	③ 子どもや保護者等からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 職員は、日々の福祉サービスの提供において、子どもや保護者等が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 意見箱の設置、アンケートの実施等、子どもや保護者等の意見を積極的に把握する取組を行っている。
	気になるところがあった子どもがいたら、その時点で気づきをパソコン入力職員間で共有している。記録としてファイリングしている。解決に向かうように職員間で話し合い、保護者への連絡をきちんとしている。新1年生の場合、直接学校に電話をして、学校での様子を確認するケースもある。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 意見等にもとづき、放課後児童クラブの質の向上に関わる取組が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
37	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア リスクマネジメントに関する責任者を明確化するなどの体制を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。
	責任者を明記して体制は整備出来ている。マニュアルもあり外出時には車が多い所なので特に注意して付き添い、子ども達を見守っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。
	5月8日を安全の日としてレイモンドグループ全員が子ども達が安心安全に過ごせるよう、道路は自動車が頻繁に通るので外出には安全コースを決めるなど準備態勢を整えている。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。
	毎月1日と15日安全点検日としている。		<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。
38	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。
	コロナ・インフルエンザ等感染予防と発生時の対応マニュアル等を作成し、管理体制もきちんと整備している。登所した子どもは、玄関の体温計で測定後、自分の体温を記入している。児童クラブの隣には、病児室があり子どもの状況次第では利用することも可能なうえ、階下には保育園の看護師も常駐しており、支援・相談ができる所は、当クラブの恵まれているポイントである。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 感染症の予防策が適切に講じられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 感染症の発生した場合には対応が適切に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。
39	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 災害時の対応体制が決められている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、福祉サービス提供を継続するために必要な対策を講じている。
	避難訓練を年4回実施している。火災時は、3階より降りる非常用階段を使用する。階段が狭いので日頃よりまず安全第一を考え、慌てず降りよう指導している。第一避難所は同園の園庭に、第二避難所は中央小学校と決めている。地震時は、机の下に頭を入れ守るように訓練している。災害時の保護者への引き渡し訓練も実施している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 防災計画等を整備し、地元の行政をはじめ、学校、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 保護者等が災害により帰宅困難となった場合の対応方法が決められ、保護者等と共有されている。

放課後児童健全育成事業版第三者評価調査報告書
【共通評価基準】

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 育成支援の標準的な実施方法が確立している。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
40	① 育成支援について標準的な実施方法が文書化され育成支援が提供されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 標準的な実施方法が適切に文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。
	標準的な育成支援計画は文書化し、毎日のスケジュールを記述する中で、確認し合って育成支援を実施している。その間こころポイントを感じると写真撮影をし、お迎え時に報告版に張り付け確認し合っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 育成支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 育成支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。
	日頃の積み上げの中からミーティング時に必要な変更や継続確認をし合っている。長期休暇保育期間中は、毎日ドキュメンテーションを所内に掲示して保護者と子ども達の状況把握共有に努力し、見直しのチャンスにも恵まれている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 検証・見直しにあたり、育成支援の計画の内容が必要に応じて反映されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 検証・見直しにあたり、職員や子どもや保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。
Ⅲ-2-(2) 子どもに対する育成支援の計画が策定されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
42	① 育成支援の計画を適切に策定している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 育成支援の計画策定の責任者を設置している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 育成支援の計画には、子どもの具体的なニーズが明示されている。
	育成支援計画は、法人理念、保育理念、保育方針にのっとり職員参画の下きめ細かく作成している。「特に子ども一人ひとりの育ちに寄り添い、それぞれの生きる力を育みます」が見事に組み込まれている。いろいろな活動のスタートは、子ども達とまず相談することから始まることになっていて、積極的な育成支援が進められている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 育成支援の計画を策定するため、職員の合議と子どもの意向把握の手順を定めて実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 育成支援の計画どおりに育成支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。
			<input type="checkbox"/>	オ 障害のある子どもや特に配慮を必要とする子どもへの対応について検討し、積極的かつ適切な育成支援の提供が行われている。
43	定期的に育成支援の計画の評価・見直しを行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 育成支援の計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、子どもの意向把握を行うための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 見直しによって変更した育成支援の計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。
	毎月のミーティングで検討しているが、特にイベント実施の後にはアンケートを行いその成果を次に活かそうと話し合っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 育成支援の計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、育成支援を十分に提供できていない内容(ニーズ)等、育成支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。
Ⅲ-2-(3) 育成支援実施の記録が適切に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
44	① 子どもに関する育成支援実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもは身体状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって把握し記録している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 育成支援の計画にもとづき育成支援が実施されていることを記録により確認することができる。
	登所時に子どもの身体状況や生活状況等を記入したみどりの健康観察表を提出して貰い、職員は子どもの情報をきちんと把握している。毎日の活動内容は、子ども一人ひとりの月間スケジュール表をもとに、きちんとタイムスケジュールごとに記録している。二年間の資料は、みらい園共有ファイルの中にあり、職員はいつでも確認できる。職員会議には、児童クラブ担当職員も参加し施設長の指導を受けたり報告や連絡等の大切な時間となっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 組織における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 事業所内で情報を共有する仕組みが整備されている。
45	② 子どもや保護者等に関する記録の管理体制が確立している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。
	個人情報保護規程に基づき、入所時に保護者への説明をし、『個人情報取り扱いについて』の同意書を提出してもらっている。施設長が記録管理の責任者となっている。時間を経過した資料等は、USBできちんと保管している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 記録管理の責任者が設置されている。
			<input type="checkbox"/>	エ 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 個人情報の取扱いについて、子どもや保護者等に説明している。

放課後児童健全育成事業版第三者評価調査報告書
【内容評価基準】

A-1 育成支援

A-1- (1) 子どもが安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
A①	① 子どもが安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境を整備している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 生活の場としての機能を満たすための設備及び備品等を備えている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 遊びを豊かにするために必要な遊具及び図書を備えている。
広いオープンスペースを必要に応じて自習、飲食にはそれに合った机や仕切りを、個人スペースでゆっくりの読書用にはマットを敷いて仕切るなど種々工夫して生活の場を築いている。図書も閲覧できるように常にきれいに整理された書棚が一角に並んでいる。体調の悪いときには、保育園の看護師の協力も得られ病児室が空いていれば活用している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 発達段階に応じた遊びと生活の環境を備えている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 体調が悪いときなどに静養できるスペースが確保されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 自習等の学習活動ができる環境を整えている。
		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
A②	① 子どもが放課後児童クラブに自ら進んで通い続けられるように援助している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 入所時や長期休み前等に、子どもが放課後児童クラブでの過ごし方を理解できるように工夫している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもの様子や育成支援の内容を日常的かつ継続的に保護者に伝えている。
入口のメモで、体温測定値を記入し健康観察表、毎日往復する情報交換ファイルの提出、カメレオンコードをパッドに向けて登所報告等習慣化し、新しいことはメモや写真で納得できるよう、保護者に対しても常に分かり易い対応に努めている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 放課後児童クラブに通う事の必要性について、保護者と共に子どもの気持ちに寄り添いながら理解を促している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保護者が年度途中の転居以外で退所を検討している際、その理由を把握し、対応を行っている。
A③	② 子どもの出欠席を把握し、適切に援助している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもの出欠席について、保護者からの連絡であらかじめ確認している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもの出欠席について、当日の変更についても確認できるようにしている。
毎月保護者に予約表(利用時間、登降所時間と保護者が迎えに来るか一人で帰宅するのか記入)を受け取り確認後コピーを保護者に返却している。キッズプラスで登降所を確認し何か変化があればすぐ小学校と保護者に連絡している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもが保護者からの連絡なく欠席したり来所が遅れたりした場合に、速やかに状況を把握し対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもの所在が把握できない場合の対応を検討し、あらかじめ保護者へ伝えている。
A-1- (3) 子ども一人ひとりと集団全体の生活を豊かにする育成支援		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
A④	① 子ども自身が見通しを持って主体的に過ごせるように援助している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 放課後児童クラブでの過ごし方は、できるだけ簡潔でわかりやすいものとし、子どもが理解できるようにしている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子ども一人ひとりにとって無理のない過ごし方となるよう配慮しながら、子ども全体に共通するおまかな過ごし方や生活時間の区切りをつくっている。
子どもたちが常に月間カレンダー・当日予定表などの掲示物を見ながら自身でどういった計画を実施するかを考える習慣を学ばせている。さらに児童クラブ内で過ごす時に解決できない問題が生じた場合にはグループ内の仲間に相談したり、異年齢の子どもから教えてもらえるような環境を自然にできる様支援している。クリスマスパーティーを観察させて貰ったが、子ども達同志で常にまとまって活動が展開して行くことが見事であった。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもと話し合いながら、遊びや生活の流れや内容を柔軟に活用して子どもが放課後の時間を主体的に過ごせるように援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもが集団の中での過ごし方について自分自身で考えられるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 放課後児童クラブにおける過ごし方や生活時間の区切り等を保護者に伝えている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 学校が長期休みとなる期間には、夏休み等ならではの過ごし方や活動の工夫や配慮を行っている。
A⑤	② 日常生活に必要となる基本的な生活習慣を習得できるように援助している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 日常生活に必要となる基本的な生活習慣の内容を、子どもが理解できるように伝えている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 健康や衛生に関すること(手洗いやうがい、衣服の着脱等)が身につくよう援助している。
登所した際には、職員との挨拶の声掛けに始まって着替えからハンガー掛けの後、入り口のカメレオンコードによる出席チェック後はボードに貼られた月間・当日予定表を見る習慣も習得させている。またトイレや洗面所には注意書きがドアや壁に貼りだされていて常に衛生面での注意を喚起する習慣も身につける環境にあり、生活習慣が自然に習得出来る様に仕組んでいる。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 持ち物の管理や整理整頓等の生活習慣が身につくよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもたちが集団で過ごすという特性を踏まえて、集団生活を維持するための活動を分担・協力することを理解できるよう工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 一人ひとりの発達状況に応じた援助とともに、取り組みやすい環境の工夫をしている。

放課後児童健全育成事業版第三者評価調査報告書

【内容評価基準】

A⑥	③ 子どもが発達段階に応じた主体的な遊びや生活ができるように援助している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子ども一人ひとりについて、その発達の状況や養育環境の状況等を把握する必要性を理解している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	年齢や発達の状況、その時々々の心身の状況に応じて、子ども自身が遊びを自由に選択できる環境を整えている。
	月間スケジュールの中で中心的な自由遊びは、室内の遊具・パソコン・児童本・色紙などの素材を利用してのびのびと自由に過ごしている。職員はそうした子ども達の遊びや学びのフォローをきめ細かに行っている。月間スケジュールには、このほか全員遊びや班遊びのスケジュールも組み込まれていて団体生活に慣れる支援も配慮している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの来所時には、子どもが安心できるように迎え入れ、子ども一人ひとりの心身の状態を把握している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	一人ひとりの子どもの普段の健康状態や心身の状態についての特徴を把握し、放課後児童支援員等の中でその情報を共有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	静養や気分転換が必要なことに気づいた時に、適宜対応できるようにしている。
A⑦	④ 子ども同士の関係を豊かに作り出せるように援助している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子ども同士で遊びを作り出せるような時間や環境を整え、自発的に遊びを展開できるように援助している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	意見の対立やけんか等について、お互いの考え方の違いに気付くこと、葛藤の調整や感情の高ぶりを和らげること等ができるよう援助している。
	普段の日には、職員は一人遊びしている子どもに話しかけたり、グループで過ごす子どもたちへはその遊びに寄り添った支援をしている。またそれぞれの児童の性格・特性などを把握して出来るだけ孤立しないような工夫も随所にみられる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子ども間でのいじめの関係が生じないように配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	問題が起きたときには早期対応に努め、保護者や関係機関と連携を取りながら適切に対応するよう努めている。
A⑧	⑤ 子どもが自分の気持ちや意見を表現することができるように援助している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	放課後児童支援員等は子どもの情緒や子ども同士の関係にも配慮し、子どもの意見を尊重している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが放課後児童支援員等に悩みや相談事も話せるような信頼関係を築くように努めている。
	年数回の特別プログラムを実施し、そこでは異年齢のグループ単位の発表会を実施している。そして他グループからは発表の評価を受けて、レベル評価に一喜一憂しながら子ども達も自由な意見を交わすことが出来る機会になっている。発表会は、計画・準備段階から子ども達がお互いの希望や意見を交わして楽しみにしている様子がうかがえる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	行事等を行う際は、子ども同士が意見を出し合う機会を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもが運営に関わる行事等の活動を行う際には、子どもと保護者に活動の目的や大まかな内容を説明している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	子どもが運営に関わる行事等の活動を行う際には、子ども自身が運営に関わる際の段取り等を伝えている。
A-1-(4) 固有の援助を必要とする子どもへの適切な育成支援		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
A⑨	① 障害のある子どもの受入れの考え方を理解したうえで、受入れに努めている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	障害のある子どもの利用機会の周知を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	受入れの判断について、あらかじめ判断の基準や手続等を定めている。
	障害のある子どもを受け入れる体制は整っているが、現在は在籍していない。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	障害のある子どもの受入れにあたっては、障害特性を理解した上で、子どもや保護者との面談の機会を持つなどして、子どもの健康状態、発達の状況、家庭の状況、保護者の意向等を個別に把握している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	障害のある子どもの、個々の状況に応じた施設設備や育成支援の内容、職員体制等の環境の整備に関する配慮等を行っている。
A⑩	② 障害のある子どもの育成支援に当たっての留意点を踏まえ、育成支援を行っている。	b	<input type="checkbox"/>	ア	障害のある子ども一人ひとりの状況や育成支援の内容を記録している。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ	記録した内容を、放課後児童支援員等の中で共有している。
	運営指針の中に、障がいのある子どもへの対応に関して細かな留意点が記載されているが、今時点在籍していない。		<input type="checkbox"/>	ウ	障害のある子どもの育成支援について事例検討する機会を持っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	学校を含む他機関との連携を図っている。
A⑪	③ 特に配慮を必要とする子どもへの対応に当たって、関係機関と連携して適切な支援を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	放課後児童支援員等は、子どもの家庭環境についても配慮し、家庭での養育等について特別の支援が必要な状況を把握した場合には、市町村や関係機関と連携して適切な支援につなげている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	放課後児童クラブでの生活に特に配慮を必要とする子どもの支援に当たっては、保護者、市町村、関係機関と情報交換を行い、連携している。
	少しでも日々の様子と違う子どもに気づくように、常日頃からコミュニケーションをとり信頼関係を築くよう努めている。職員会議でも、長期休んでいる子どもへの対応についての指導を受けている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	児童虐待を発見した後の市町村等への通告の手順や、緊急性があると思われる場合の対応と手順についてあらかじめ定めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	要保護児童対策地域協議会及び関係機関の構成員となるなど、関係機関と連携、協力できる体制を構築している。
A-1-(5) 適切なおやつや食事の提供		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
A⑫	① 放課後の時間帯におやつを適切に提供している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	放課後児童クラブとしてのおやつ役割を考慮して、おやつ提供時間や方法を工夫している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもたちの状態等を考慮して、おやつの内容を工夫している。
	登所後、きちんと手洗いを済ませると、いくつかの種類のおやつを選択し椅子に座り楽しみながら食べている。クリスマスではケーキや飲み物等子ども達で相談しお店と折衝して決めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	落ち着いた環境でおやつを楽しめるようにしている。

放課後児童健全育成事業版第三者評価調査報告書

【内容評価基準】

A⑬	② 食に伴う事故（食物アレルギー事故、窒息事故、食中毒等）を防止するための対応を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>		ア 食に伴う事故（食物アレルギー事故、窒息事故、食中毒等）の緊急時対応のマニュアルを整備し、全職員に周知している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>		イ すべての子どものアレルギーの有無を利用開始までに調査し、アレルギーのある子どもについては全職員で情報を共有している。
	入所時に記載してもらった健康診断書にアレルギー疾患についての項目があり、医師の診断書を伴う様式となっている。緊急時対応のマニュアルもわかりやすく記載している。今現在、アレルギーのある子どもは、在籍していない。毎日のおやつの内容については、メーカーより商品名や商品説明を記載したプリントを必ず送付してきている。		<input checked="" type="checkbox"/>		ウ 食物アレルギーのある子どもへのおやつや食事の提供について、対応方針を定め、定期的に保護者と相談し決定して調整を行ったうえで、子ども・保護者と緊急時の対応を共有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>		エ 食物アレルギー等の対応方法に関する基本的な事項について、定期的に訓練を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>		オ 窒息事故等がないよう、安全確認を徹底し、危機管理体制を整えている。
			<input checked="" type="checkbox"/>		カ 食中毒防止のための点検項目を定めている。
A-1-(6) 安全と衛生の確保		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点（該当する場合は□にチェック）
A⑭	① 子どもの安全を確保する取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>		ア 毎日子どもが来所する前までに、施設整備や遊具等の安全点検、整理整頓、清掃等を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>		イ 安全管理に関する点検について、点検項目、点検頻度、点検者を定め、定期的に点検を行っている。
	施設整備、遊具についてきめ細かな安全点検を毎日行っている。令和3年8月～10月の間は、窓・ベランダ・網戸が△であったが、令和4年4月以降は月2回の点検で修理箇所を見つけて改善して居て毎日の点検では全て○になり安全面も改善している。遊具も後片付け時に点検し次の日に使えるようにしている。職員は、おやつが済んだ時点でテーブルと椅子を消毒し片付け、子ども達が自由に遊び回れるようスペース作りをしている。業務マニュアルの中に、事故が起きた場合の対応・ケガの対応・家庭との連携等きちんと危機予防編に記載している。		<input checked="" type="checkbox"/>		ウ 放課後児童クラブにおける事故やケガの防止や発生時の対応についての方針を策定している。
			<input checked="" type="checkbox"/>		エ 子どもの来所経路や帰宅経路における安全確保について、計画及びマニュアルを作成し、保護者に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>		オ 地域組織や子どもに関わる関係機関等に、子どもの来所・帰宅の経路等を伝え、地域の人々の理解と協力を得られるようにしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>		カ 子どもの主な行動範囲を中心とした地域の中で子どもの行動や環境を把握している。
			<input checked="" type="checkbox"/>		キ 子どもの病気やケガの場合、保護者と連絡をとれるようにしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>		ク 事故やケガが発生した場合、その発生時刻や場所、その内容や対応の経過について正確な時刻の記述も含めて記録している。	
A⑮	② 衛生管理に関する取組を適切に行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>		ア 施設整備の衛生に関して、点検項目、点検頻度、点検者を定めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>		イ 衛生管理に関する点検を定期的に行っている。
	おやつ置き台には、アルコール消毒を準備している。おやつは個包装されているので、衛生面でも安心できる。おやつを食べる時はコロナ感染予防としてアクリル板で仕切り、全員が正面を向いて食べる配置にしている。		<input checked="" type="checkbox"/>		ウ 子どもと共に日常の衛生管理に努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>		エ 子どもが調理や準備をする際の衛生管理を徹底して行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>		オ 放課後児童支援員等の手洗いや爪切り、消毒等の衛生管理を徹底している。

A-2 保護者・学校との連携

A-2-(1) 保護者との連携		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点（該当する場合は□にチェック）
A⑯	① 保護者との協力関係を築いている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>		ア 子育てのこと等について保護者が相談しやすい雰囲気づくりを心掛けている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>		イ 保護者が放課後児童クラブの活動や行事に参加、協力する機会を設けている。
	毎月発行の「おたより」は、写真を上手に活用し見える化に徹底した編集で保護者には理解しやすくなっている。特に長期保育期間中は毎日ドキュメンテーションボードで、迎えの保護者には毎日の活動が手に取る様に解る様提示している。		<input type="checkbox"/>		ウ 保護者会や保護者が参加する活動や行事の機会を工夫して、保護者同士の交流の場を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>		エ 保護者が放課後児童クラブの運営に協力する関係を築いている。
			<input checked="" type="checkbox"/>		オ 宿題への対応について、保護者と共通の理解を持てるようにしている。
A-2-(2) 学校との連携		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点（該当する場合は□にチェック）
A⑰	① 子どもの生活の連続性を保障するため、学校との連携を図っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>		ア 子ども生活の連続性を保障するための学校との情報交換や情報共有を日常的に図っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>		イ 毎日の子どもの下校時刻や学校の行事等の予定について、学校と情報交換し、連携している。
	4つの小学校の担当者窓口（教頭含む）との関係は、日々の連絡はもちろん月間予定の情報も共有している。また職員は、学校に在籍時の児童の状況も把握理解したり、学校側の行事予定も事前に把握し、保護者に伝達しようと努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>		ウ 子ども来所経路や帰宅経路における緊急時の連絡方法について、学校と情報交換し、連携している。
			<input checked="" type="checkbox"/>		エ 子どもに関する情報を提供をしたり情報を得たりする際の、個人情報の保護や秘密の保持についてあらかじめ学校と取り決めていた。
			<input checked="" type="checkbox"/>		オ 子どもや家庭の状況に変化や問題が生じた際には、連絡調整ができる関係を学校と構築している。
			<input checked="" type="checkbox"/>		カ 学校との連携に関する担当者を置いている。

放課後児童健全育成事業版第三者評価調査報告書
【内容評価基準】

A-3 子どもの権利擁護

A-3-(1) 子どもの権利擁護		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
A⑩	① 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	職場倫理を具体的に明文化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	放課後児童クラブにおける虐待等の子どもの心身に有害な影響を与える行為の禁止と早期発見について、明確な規定を設けている。
	施設長から常に笑顔で対応し、子どもや保護者と関係性を深める行動を取る様指導を受けている。業務マニュアル、虐待マニュアルの研修を受け、職員会議では主任からも適宜チェックする様指示を出し、徹底に努めている。 何か計画が出されると、子ども達と相談することから始める様にして、結果的には内容のある子ども達の計画案が出されることが素晴らしい。クリスマスパーティーに参加したが、その運営を子ども達自身で行っていたのは印象的であった。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	職場倫理を研修等で共有し、遵守状況を確認している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	職員による子どもの権利の侵害や虐待とみなされる行為の禁止について研修等を実施し、職員間で共有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	権利侵害の早期発見と対処のための具体的な取組を定めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	子どもに影響のある事柄について、子どもが意見を述べ、参加することを保障している。